

新公立病院改革プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

公立西知多総合病院

【地域医療構想を踏まえた役割】（P15～P18）

< 5 疾病・5 事業 >

当院は知多半島構想区域内において、医療従事者・医療設備共に最も充実した病院の1つとなっています。これらの医療資源を最大限に有効活用していくにあたって、これまで以上にがんや救急医療といった急性期医療の充実・発展を図っていくことが、知多半島構想区域における当院の貢献であると認識しています。公的医療機関に求められる5疾病5事業等に関して、以下の点を踏まえ、機能の充実を図っていきます。

【5 疾病】

がん	<ul style="list-style-type: none"><li>○現在、がん疾患に関しては他の構想区域へ最も流出している疾患の1つとなっています。常勤医師の確保を始めとした診療体制の充実を進めるとともに、地域におけるがん治療の中核病院として、愛知県がん診療拠点病院の指定を目指します。</li><li>○常勤の放射線科医、病理医を配置していることに加え、最新の画像診断装置等を保有していることから、がんの早期発見及び精度の高いがん診断に取り組んでいきます。</li><li>○当院では手術療法、化学療法を中心にごがん治療を行っています。大腸がん・胃がんの手術療法に関しては腹腔鏡手術も導入しており、患者の負担軽減に向けた低侵襲治療に取り組んでいきます。</li><li>○形成外科医との連携により、乳房再建術を導入しています。更なる乳がん治療体制の充実に向けて、乳腺専門医の確保に取り組んでいきます。</li><li>○呼吸器外科医の確保に取り組み、肺がんの集学的治療の実施を目指します。</li><li>○化学療法の充実に向けて、皮膚科医による皮膚障害ケアにも取り組んでいきます。</li><li>○知多半島構想区域で唯一緩和ケア病棟を保有する病院として、がんによる身体的・精神的な苦痛の軽減に取り組んでいきます。</li></ul>
----	--

がん	○がんの集学的治療が行えるよう、平成31年度を目途に放射線治療の開始に向けた準備を進めていき、強度変調放射線治療（IMRT）の実施を目指します。
脳卒中	○24時間365日体制でのt-PA治療やカテーテル治療などの脳血管内治療等に取り組んでいきます。 ○増加する救急需要に対応するため、脳神経外科医及び神経内科医の増員に努めます。 ○早期から積極的な脳血管疾患等リハビリテーションに加えて、言語聴覚療法の充実に向けて、言語聴覚士の確保に努めます。 ○患者が早期に自宅に帰られるよう、当院と地域の医療機関等が同じ診療方針の下、安心安全で質の高い医療を提供できるよう、地域連携クリニカルパスの普及に取り組んでいきます。
急性心筋梗塞 （心筋梗塞等の 心血管疾患）	○24時間365日体制での心臓カテーテル検査や血管内治療等に取り組んでいきます。 ○更なる急性心筋梗塞治療体制の充実及び大動脈解離の緊急手術等にも対応できるよう、心臓血管外科医の確保に取り組んでいきます。 ○早期から積極的な心大血管疾患リハビリテーションに取り組んでいきます。
糖尿病	○糖尿病医療の中核病院として、糖尿病患者の重症化予防に向けて地域の診療所との連携強化に取り組んでいきます。 ○市民公開講座等を通じた地域住民への啓発活動にも引き続き取り組んでいきます。
精神疾患	○現在入院している患者に対して、精神面のサポートが行えるよう、精神科医の確保及び精神科リエゾンチームの設置に向けて取り組んでいきます。
<b>【5事業（へき地医療を除く）】</b>	
救急医療	○三次救急医療機関(救命救急センター)の指定を目指していますが、当面は二次救急医療機関として、24時間365日の救急患者の受入体制を強化し、引き続き断らない救急医療に取り組んでいきます。

救急医療	<p>○医師、看護師を始め、臨床検査技師、放射線技師、臨床工学技士も365日24時間体制で院内に常駐していることから、更なる円滑な救急患者の受入に向けてチーム医療を推進していきます。</p> <p>○地域の救急需要に対応するため、医師確保に加えて、心電図伝送システムの構築等、救急隊との連携強化に取り組んでいきます。</p>
災害時における医療	<p>○当院は地域災害拠点病院に指定されています。地域中核災害拠点病院である半田市立半田病院と連携し、地域の災害医療体制の向上に取り組んでいきます。</p> <p>○南海トラフ巨大地震の発生時には、当院周辺地域においても甚大な被害が想定される事から、DMAT隊員の養成をはじめ、災害発生に備えた体制強化を図ります。</p>
周産期医療	<p>○正常分娩の受入に向けて、産婦人科医及び小児科医の確保、あいち小児保健医療総合センター等との連携強化に取り組んでいきます。</p>
小児救急医療を含む小児医療	<p>○東海市・知多市で唯一小児入院加療が可能で、かつ小児二次救急に対応している医療機関として、小児入院診療・救急医療体制の更なる充実に向けた小児科医の確保に取り組んでいきます。</p> <p>○小児三次救急医療については、スムーズに小児救命救急センターに紹介できるよう、あいち小児保健医療総合センター等との連携強化に取り組んでいきます。</p> <p>○腎臓専門医の資格を有する小児科医がいることから、専門外来における小児腎疾患治療にも取り組んでいきます。</p>

**【その他】**

5 疾病 5 事業以外で地域に求められる医療	<p>○下肢関節外科の専門医が充実している人工関節手術の中核病院として、引き続き手術患者の受入を行っていきます。</p> <p>○知多半島構想区域で唯一結核モデル病床を有する医療機関であり、広い地域からの結核患者の受入を行っていきます。</p>
------------------------	--

<地域医療構想を踏まえた病床機能の方向性>

愛知県地域医療構想において、構想区域ごとの将来必要病床数と平成27年度時点病床機能報告結果が示されており、地域の医療提供体制のあるべき方向性が明らかになっています。内訳としては、急性期病床が過剰な状況にあり、高度急性期、回復期及び慢性期病床が不足している結果となっています。これらのあるべき方向性も踏まえ、当院として、適正な病床機能のあり方を検討していきます。

【再編・ネットワーク化】(P36)

知多半島医療圏北西部地域や周辺地域において不足している、あるいは充足が求められている医療機能については、当院の診療体制の強化に加えて、回復期・慢性期をはじめとした地域の医療機関との連携により、対応していきます。

【数値目標について】(P23)

■経営指標・医療機能等指標に係る数値目標

	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度 計画	平成32年度 計画
<b>①経営指標</b>				
医業収支比率	84.4%	91.0%	92.7%	93.7%
経常収支比率	94.1%	97.5%	98.5%	100.1%
給与費対医業収益比率	64.8%	60.0%	59.9%	59.9%
材料費対医業収益比率	19.1%	18.9%	18.7%	18.5%
うち医薬品費	10.4%	10.3%	10.2%	10.1%
うち診療材料費	8.4%	8.3%	8.2%	8.1%
経費対医業収益比率	19.1%	16.7%	16.4%	16.4%
うち委託料	12.7%	10.9%	10.8%	11.0%
1日あたり入院患者数	350人	370人	370人	370人
病床稼働率(稼働病床ベース)	82.7%	87.5%	87.5%	87.5%
1日あたり外来患者数	810人	810人	821人	827人
1人あたり入院診療単価	55,000円	59,000円	59,600円	59,600円
1人あたり外来診療単価	13,000円	13,100円	13,100円	13,200円
常勤医師数	73人	82人	83人	84人
<b>②医療機能等指標</b>				
総手術件数	3,300件/年	3,400件/年	3,500件/年	3,600件/年
救急車搬送受入患者数	5,000人/年	5,100人/年	5,200人/年	5,300人/年
紹介率	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上
逆紹介率	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上

